おかげ様で感謝

オケクラフト30周年記念

オケクラフト30周年記念事業「いっしょに暮らしと文化を楽しむサロン」（実行委員会主催）が11月24日、中央公民館で開催されました。「オケクラフト」の名付け親、故秋岡芳夫さんの長男の秋岡陽さん(東京都在住)や、作り手養成塾の時松辰夫塾長(大分県在住)など、町内外から関係者・オケクラフトファン200人余りが集い、オケクラフトの器に盛られた手作り料理や、浜美枝さんの講演などを楽しみ、オケクラフト誕生30周年の節目を祝いました。

地元食材を使った料理がオケクラフトの食器で提供された「地域料理の味見サロン」

数量限定で来場者にプレゼントされた「オケクラフト30周年記念キーホルダー」

ガラス工房などとの共同制作展「作り手コラボ」

地場産料理をオケクラフト食器で提供

「いっしょに暮らしと文化を楽しむサロン」は、これまでオケクラフトを支えてくれた地域の方々へ感謝し、30周年を契機にさらなる飛躍をと企画されました。

来場者には、特製の「オケクラフト30周年記念キーホルダー」をプレゼント。用意しておいた150個がたちまちなくなる盛況ぶりでした。

地元産の食材を使った料理をオケクラフトの器で味わう「地域料理の味見サロン」では、町食生活改善推進員協議会など４団体が協力し、「白花豆のポタージュ」や「ヤーコンと椎茸の味噌煮」など14品をビュッフェ形式で提供。自然の温もりを感じる木の器での食事は、目と舌の両方で楽しむことができ、来場者は「口当たりがなめらか」「贅沢な気分も一緒に味わえる」などと、オケクラフトの使い心地の良さを再確認していました。

さまざまな企画展示、記念販売も

会場では、町内19ケ所のオケクラフト工房を紹介するパネル展や、今年の４月以降に生まれた赤ちゃんにオケクラフトの食器セットを贈る「すくすくギフト」、オケクラフト工房が町内のガラス工房などとタッグを組んだ「作り手コラボレーション」試作品紹介など、さまざまな企画展示が行